

高萩救助シャトルレスキュー



日 時 平成26年3月9日 09時50分～10時10分
場 所 高萩市立高萩小学校
内 容 高萩市防災訓練においてシャトルレスキューを実施
実 施 者 高萩消防署 救助隊員8名

平成25年度高萩市防災訓練においてシャトルレスキュー（スキーマのリフトをイメージ）を実施しました。



今回の訓練においては、高萩小学校校舎3階ベランダからの救出になるため支点になる柱のモルタル塗り部分の保護のため、ベランダ部分に単管パイプにより上部アンカー（支点）を作成しました。車両の停車位置は、下部アンカーの中央を上部アンカーに垂直になるように停車し、上部アンカーへの横方向への傾きを防止しました。



上部支点の設定状況

ハイライン（展張）2本を別々のプリーにとることにより、ロープ破断とプリー破損時のバックアップとし、タグラインをハイライン下に設定し、単管パイプフレームには、後方の柱にバックタイ（補強）を設定しました。



救助工作車にビークルアンカー（支点）を作成して、別系統6倍力システムとタグライン（コントロール）アンカーを作成して、ハイラインを2本同時に張り込み、タグライン操作員は、両側に2名を配置して、より安全な救出と進入操作を実施しました。

また上部下部アンカー作成には、テープスリング2本併せで作成して、ハイライン張り込み部分と端末部分は、タンデム（2本）プルージックを設定しました。



要救助者の救出と救助隊員進入状況

各部アンカーへの負担を軽減するため、ハイライン張力を400kg程度とし、要救助者と進入救助隊員の移動をタグライン操作員によりスピードを調整しました。

また訓練塔と違いベランダ手すりを越えるため、進入隊員は、低い位置にて進入準備をして、手すり手前で一旦停止して、要救助者が地上に着いてから車両側へ補助しながらゆっくり移動し、進入隊員がベランダへ進入しました。



要救助者救出状況



タグライン操作状況

反対側タグライン操作員
と連携し、降下、進入のスピードを調整する。

またトラブル発生時のシステム停止の確保も実施する。



訓練実施救助隊員

署員の皆様には、署内訓練及び現地訓練実施の際には、安全管理、資機材の搬送等のご協力ありがとうございました。

実施救助隊員の皆様お疲れ様でした。出場から3名の要救助者救出完了まで13分で実施できたことは、反復訓練による隊員各自の技術向上の結果だと思います。訓練で検証し、実施した救助技術しか実践では使えないこと、また活動隊全員がシステムを理解して、活動にあたることが大切だと感じました。

また訓練内容は、第16回全国救助シンポジウムにおいて発表

された那覇市消防本部考案の「シャトルレスキュー」を手本として、
検証と訓練を重ね、高萩消防に適したものに組換えさせていただきました。